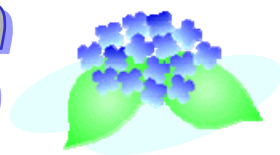


# パートナーシップNEWS



パートナーシップ最前線！

第26号 平成17年6月

発行：パートナーシップ推進課

## みんなでつながろう 環境情報(エコネット)の輪！

6月5日(日曜日)午後12時から市内の麻布大学を会場に「さがみはら環境まつり」が開催され、約1000人の市民でにぎわいました。

この催しは地域で活動する市民、事業者、大学及び行政から構成された実行委員会が中心となって、何度も会議を重ねながら、企画づくりから事前準備、当日の運営までを様々な団体の連携により進めてきました。



趣向を凝らした展示ブース(屋外)

### 体験的に、楽しみながら学ぶ

当日は、大学の校舎を平成18年4月に開設予定の「(仮称)環境情報センター」に見たてて、その開所式からスタート。

「環境の達人たちが贈る“極上のメニュー”」と題した展示ブースでは、『感じる』『知る』『動く』をテーマに、NPO・企業・大学等から趣向を凝らした展示や体験の場が提供され、多くの家族連れが身近な自然のすばらしさやリサイクルの必要性を体験的に学んでいました。



親子でリサイクル工作

### (仮称)環境情報センターへ贈る “メッセージ”

ホールプログラムでは、(仮称)環境情報センター設置の趣旨説明や、環境パートナーシップ施設の先進事例紹介の後に、市民・事業者・大学・子ども・教員に分かれ、センターの活用に関する意見交換が行われました。

子ども分科会では、「環境情報センターはどこなところ？」という設問に対して、「リサイクルの体験ができる場」「環境に詳しい人から話が聞ける場」「環境のことを気軽に聞ける相談の場」など活発な意見が子どもたちから寄せられていました。



子ども分科会の様子

### 愛・地球博とのコラボレーション

さがみはら環境まつりは、現在開催中の「愛・地球博パートナーシップ事業」として認定されており、会場内のブースの見学や、体験に参加すると、「EXPOエコマネー」のポイントを得ることができ、集めたポイントを記念品と交換することができます。

また、貯めたポイントは万博会場にある「EXPOエコマネーセンター」でも利用することが

できる優れたもので、来場者の皆さんは熱心に様々な体験にチャレンジしていました。



モリゾーとキッコロもやってきた！